

JIS

合成樹脂被覆鉄線

Ⓜ JIS G 3543 : 2005

(JWPA/JCWIA)

平成 20 年 10 月 20 日付け追補 1 あり

平成 17 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木原 諄 二	日本大学
(委員)	大河内 春 乃	東京理科大学
	大橋 守	新日本製鐵株式会社
	小澤 宏 一	JFE スチール株式会社
	鍛地 楯 生	財団法人日本海事協会
	加藤 碩	ステンレス協会
	國府 勝 郎	東京都立大学
	近藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	佐久間 健 人	独立行政法人大学評価・学位授与機構
	三宮 好 史	社団法人日本鉄鋼連盟
	中島 將 文	社団法人日本鉄道施設協会
	長瀬 忍	高圧ガス保安協会
	福永 規	住友金属工業株式会社
	山内 学	株式会社神戸製鋼所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 58.3.1 改正：平成 17.2.20

官 報 公 示：平成 17.2.21

原 案 作 成 者：線材製品協会

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-5311)

カラーワイヤ工業会

(〒542-0082 大阪市中央区島之内 1-19-11 大浜ビル TEL 06-6253-0971)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員長 木原 諄二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

JIS 規格ご利用者各位

この規格票には、旧 JIS マーク表示制度による旧 JIS マーク(㊄)が付されており、これは、旧制度に基づき JIS マーク表示の対象として指定された品目であることを示しておりましたが、平成 20 年 10 月 1 日からは新 JIS マーク表示制度となり、指定品目制度は廃止されております。

平成 20 年 10 月 1 日

(財) 日本規格協会

合成樹脂被覆鉄線

正 誤 票

区分	位置	誤	正																																
本体	表 6 引張強さ の欄	<table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び</th> <th>引張強さ N/mm²</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>SWME-GH2 SWME-GH3 SWME-GH4</td> </tr> <tr> <td>26-18</td> <td rowspan="4">590~880</td> </tr> <tr> <td>26-20</td> </tr> <tr> <td>29-23</td> </tr> <tr> <td>32-23</td> </tr> <tr> <td>32-26</td> <td rowspan="2">540~830</td> </tr> <tr> <td>40-32</td> </tr> <tr> <td>50-40</td> <td>490~780</td> </tr> <tr> <td>60-50</td> <td>390~780</td> </tr> </tbody> </table>	呼び	引張強さ N/mm ²		SWME-GH2 SWME-GH3 SWME-GH4	26-18	590~880	26-20	29-23	32-23	32-26	540~830	40-32	50-40	490~780	60-50	390~780	<table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び</th> <th>引張強さ N/mm²</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>SWME-GH2 SWME-GH3 SWME-GH4</td> </tr> <tr> <td>26-18</td> <td rowspan="4">590~880</td> </tr> <tr> <td>26-20</td> </tr> <tr> <td>29-23</td> </tr> <tr> <td>32-23</td> </tr> <tr> <td>32-26</td> <td rowspan="2">540~830</td> </tr> <tr> <td>40-32</td> </tr> <tr> <td>50-40</td> <td>390~780</td> </tr> <tr> <td>60-50</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	呼び	引張強さ N/mm ²		SWME-GH2 SWME-GH3 SWME-GH4	26-18	590~880	26-20	29-23	32-23	32-26	540~830	40-32	50-40	390~780	60-50	
呼び	引張強さ N/mm ²																																		
	SWME-GH2 SWME-GH3 SWME-GH4																																		
26-18	590~880																																		
26-20																																			
29-23																																			
32-23																																			
32-26	540~830																																		
40-32																																			
50-40	490~780																																		
60-50	390~780																																		
呼び	引張強さ N/mm ²																																		
	SWME-GH2 SWME-GH3 SWME-GH4																																		
26-18	590~880																																		
26-20																																			
29-23																																			
32-23																																			
32-26	540~830																																		
40-32																																			
50-40	390~780																																		
60-50																																			

平成 19 年 12 月 3 日作成

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、線材製品協会(JWPA)／カラーワイヤ工業会(JCWIA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS G 3543:1999** は改正され、この規格に置き換えられる。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	1
4. 種類, 記号及び適用被覆線径	2
4.1 塩化ビニル被覆鉄線の種類, 記号及び適用被覆線径	2
4.2 ポリエチレン被覆鉄線の種類, 記号及び適用被覆線径	2
5. 材料	2
5.1 心線	2
5.2 被覆材	3
6. 製造方法	3
7. 機械的性質	3
7.1 塩化ビニル被覆鉄線の引張強さ	3
7.2 ポリエチレン被覆鉄線の引張強さ	5
8. 被膜の特性	5
8.1 被膜の耐候性	5
8.2 被膜の接着性	5
8.3 被膜の巻付性	5
8.4 被膜の耐環境応力き裂性	5
9. 線径の許容差及び最小被膜厚さ	5
9.1 適用被覆線径の許容差及び心線径の許容差	5
9.2 最小被膜厚さ	8
10. 外観	8
11. 試験	8
11.1 試験片のとり方	8
11.2 引張試験	9
11.3 耐候性試験	9
11.4 接着性試験	9
11.5 巻付試験	9
11.6 環境応力き裂試験	10
11.7 最小被膜厚さ試験	10
12. 検査	10
13. 製品の呼び方	10
14. 表示	10
15. 報告	11
解 説	12



合成樹脂被覆鉄線

Steel wire coated with colored plastics

1. **適用範囲** この規格は、塩化ビニル被覆鉄線及びひし形金網用ポリエチレン被覆鉄線（以下、合成樹脂被覆鉄線という。）について規定する。

2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1415 高分子系建築材料の実験室光源による暴露試験方法

JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件

JIS G 0415 鋼及び鋼製品—検査文書

JIS G 3532 鉄線

JIS G 3547 亜鉛めっき鉄線

JIS H 0401 溶融亜鉛めっき試験方法

JIS K 6720-1 プラスチック—塩化ビニルホモポリマー及びコポリマー（PVC）—第1部：呼び方のシステム及び仕様表記の基礎

JIS K 6922-1 プラスチック—ポリエチレン（PE）成形用及び押出用材料—第1部：呼び方のシステム及び仕様表記の基礎

JIS K 6922-2 プラスチック—ポリエチレン（PE）成形用及び押出用材料—第2部：試験片の作り方及び諸性質の求め方

JIS Z 2201 金属材料引張試験片

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

3. **定義** この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

a) **塩化ビニル被覆鉄線** **JIS G 3532** による鉄線及び **JIS G 3547** による亜鉛めっき鉄線に、塩化ビニル樹脂を主体とした合成樹脂を、接着剤又はその他の加工方法によって密着被覆した線。

b) **ポリエチレン被覆鉄線** **JIS G 3547** による亜鉛めっき鉄線に、ポリエチレン樹脂を主体とした合成樹脂を、接着剤又はその他の加工方法によって密着被覆した線。

c) **心線** 合成樹脂被覆鉄線の心となる鉄線及び亜鉛めっき鉄線。

d) **被膜**

1) **塩化ビニル被覆** **JIS K 6720-1** による塩化ビニル樹脂を主体として配合された耐候性のよい合成樹脂を押出成形機によって心線に被覆した固体被膜。

2) **ポリエチレン被覆** **JIS K 6922-1** によるポリエチレン樹脂を主体として配合された耐候性のよい合